

Hazard Map

ため池ハザードマップ



避難に関する情報

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階に整理しました。

避難情報等

各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル 1	早期注意情報 ・災害への心構えを高めましょう。	気象庁が発表
警戒レベル 2	洪水注意報 大雨注意報等 ・避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難準備・高齢者等避難開始 ・避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	
警戒レベル 4 全員避難	避難勧告 避難指示（緊急） 地域の状況に応じて緊急的または重ねて促す場合に発令 ・速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	市町村が発表
警戒レベル 5	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 ・既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	

防災気象情報

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。



警戒レベル相当情報（例）

（国土交通省、気象庁、都道府県が発表）

警戒レベル3相当情報

- ・氾濫警戒情報
- ・洪水警報 等

警戒レベル4相当情報

- ・氾濫危険情報
- ・土砂災害警戒情報 等

警戒レベル5相当情報

- ・氾濫発生情報
- ・大雨特別警報 等

危険性

大

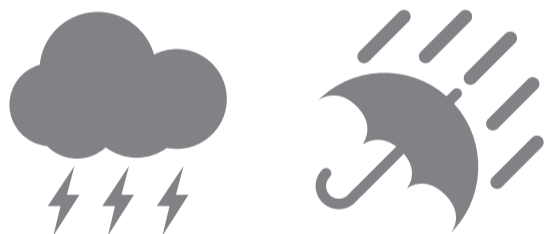
【ため池決壊に関する問い合わせ先】
矢板市 経済建設部 農林課
TEL：0287-43-6210

【土砂災害に関する問い合わせ先】
矢板市 市民生活部 暮らし安全環境課
TEL：0287-43-1114

ため池の決壊

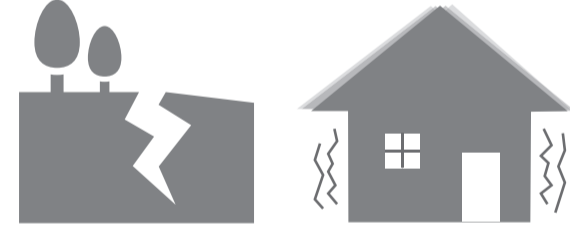
ため池決壊の要因

大雨のとき

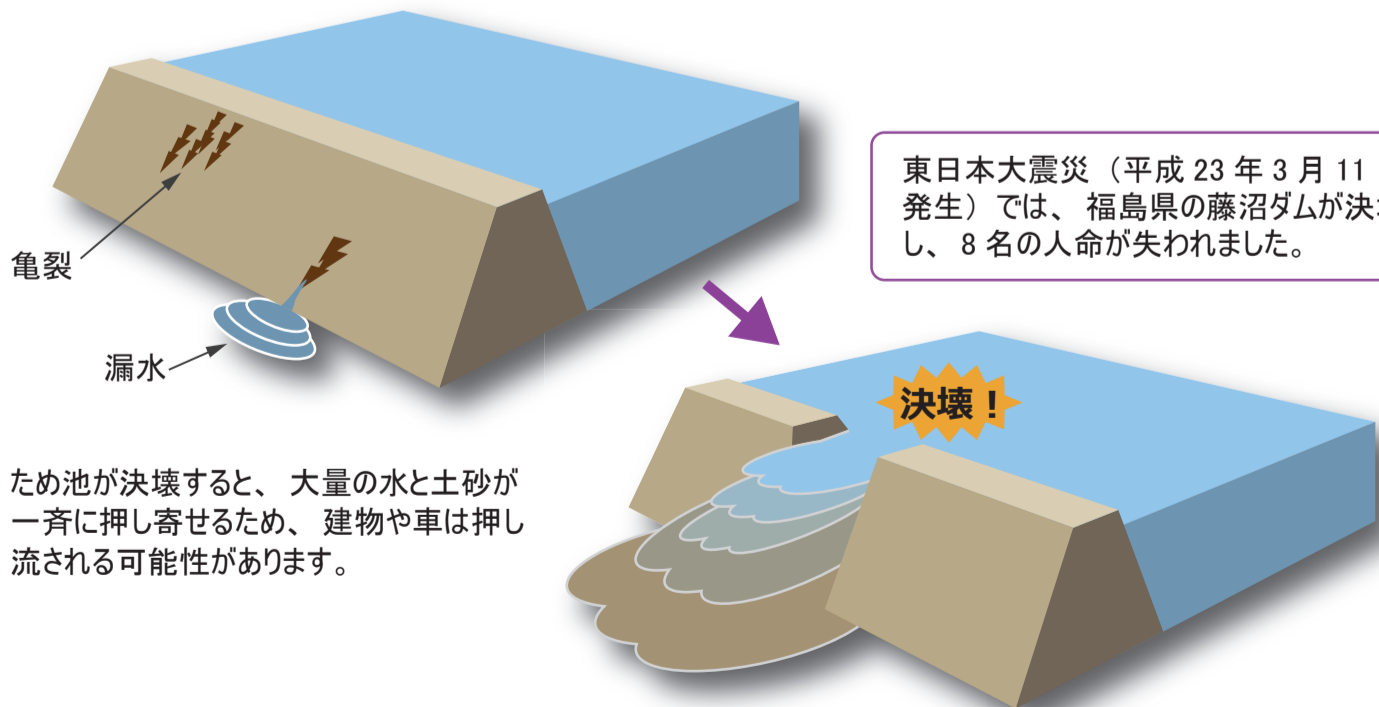


台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上昇すると、堤防に浸み込む水の量が増えて、亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険性が高まります。また、流木などがため池の洪水を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、堤防から越水してしまいます。堤防を乗り越えた水の力により堤防が侵食され、決壊に至る危険性がさらに増加します。

地震のとき



大地震が発生すると、堤防は異常な力を受けて亀裂や沈下が発生します。地震によって堤防の強度も低下しているため、水圧に耐えきれずに決壊することがあります。大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷している場合には、その後の余震で決壊することもあり得るので注意が必要です。



東日本大震災（平成23年3月11日発生）では、福島県の藤沼ダムが決壊し、8名の人命が失われました。

ため池が決壊すると、大量の水と土砂が一緒に押し寄せるため、建物や車は押し流される可能性があります。

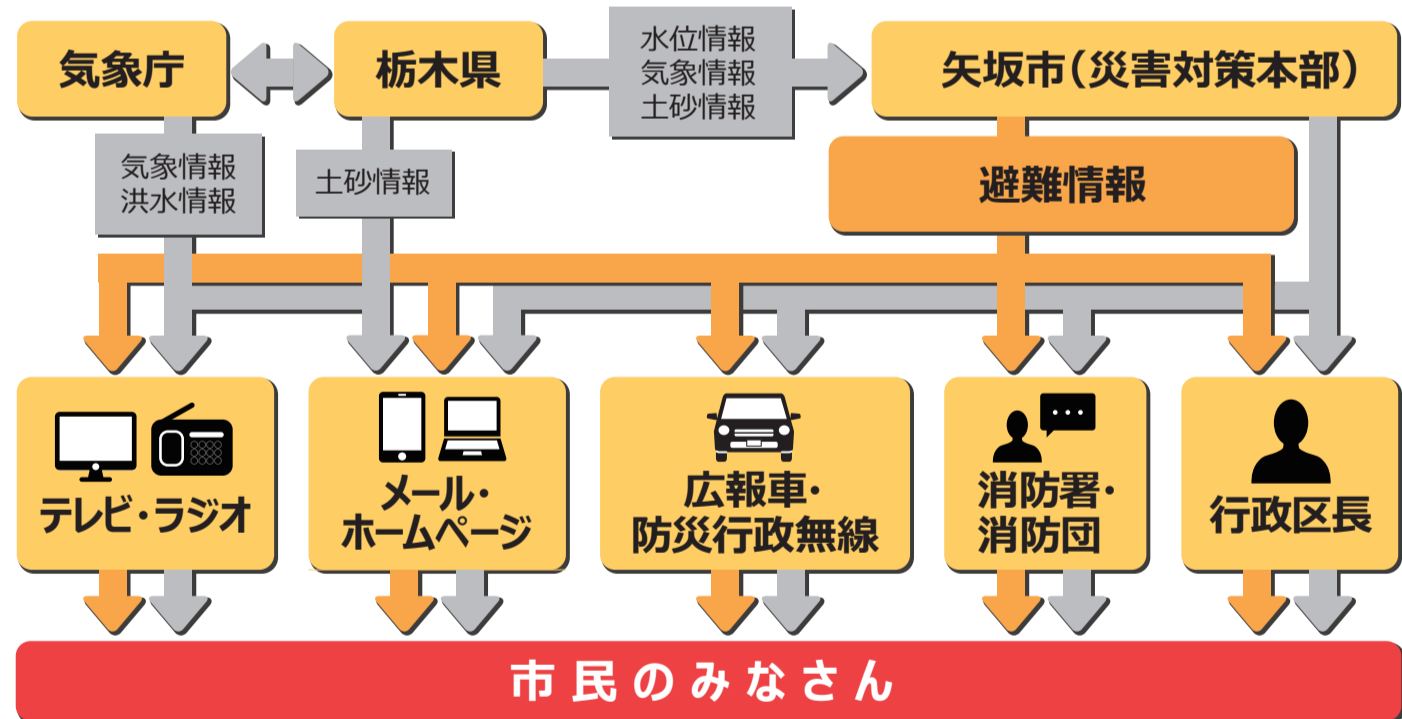
ハザードマップの作成条件

ため池が満水状態のときを想定しており、貯められている水が決壊によって一気に流れ出す状況を想定しています。決壊によって流れ出す水がなくなるまで、時系列のシミュレーションを実施しており、地図面の想定される浸水深は、時々刻々と流れ込む水の最大の水深を示しています。



情報伝達と情報収集

情報伝達の経路



情報収集

テレビで情報確認

テレビのdボタンの使い方



災害情報が確認できます

- ①リモコンのdボタンを押す
- ②「防災・生活情報」を選択する

矢板市メール配信サービス

災害時に矢板市から避難情報等を配信します

登録方法

2次元コードを読み取り、空メール「regist@mobile.city.yaita.tochigi.jp」を送信



インターネットで調べる

気象庁

気象注意報・警報・特別警報、短時間大雨予報、洪水警報の危険度分布、台風情報、地震情報など



川の防災情報

カメラ画像、河川の観測水位、水位予測など



防災情報提供センター

リアルタイム雨量、リアルタイムレーダーなど

